

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	篠町	篠町 町づくり計画2017アクションプラン(自治会からの説明)				
2	篠町	2-1 安詳小学校学童数過密化に伴う亀岡市学校適正化について	<p>平成28年3月策定の「亀岡市学校規模適正化基本方針」に基づき、取り組みを進めており、篠町が該当する東輝・詳徳中学校ブロックの基本的な考え方は、通学区域の見直しを行うことで学校間のバランスを図ること、併せて現在一つの小学校から二つの中学校に分かれて進学している状況を見直し、小中連携一貫の教育を推進していこうという基本的な考え方を基に計画案を示して、見直しを進めていく予定をしています。</p> <p>現在、各小学校PTAの役員の皆さんに説明し、御意見等を聞かせていただいております。その後、校区変更となる地区ごとに説明会を開催し、御理解をいただけるよう努めていきたいと考えています。どうぞよろしく申し上げます。</p>	教育部長	②実施予定	<p>これまで、各小学校PTA役員、各自治会役員の皆さんへの説明の後、校区変更の対象となる地域の皆さんへの説明を行ってきました。</p> <p>いただいた意見では、依然として賛同できないという意見が多くありますが、早く実施して欲しいとの声もあり、教育委員会では、今後ブロック協議会のご意見もいただきながら、できる限り早期に方向性等をまとめていきたいと考えています。</p>
3	篠町	2-2 空き家の増加に伴う活用と防犯管理対策について	<p>昨年、空き家バンクを創設し、持主が分かっている物件について、空き家バンクに登録していただき、賃貸や売買によって、この制度の活用に取り組んでいるところです。現在、8件の登録があり、利用希望は35件の状況です。登録の8件のうちの1件は篠町で、便利な地域でもあることから、いち早く賃貸でマッチングができました。</p> <p>空き家相談会について、宅地建物取引業協会にアドバイスをいただきながら取り組んでいます。今後は、司法書士会や土地家屋調査士会にもご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。また、情報の発信については、より工夫をしていきたいと考えています。</p>	市長公室長	①実施	<p>平成30年1月末日現在で、空き家バンク登録物件数は12件、利用希望が62人となっています。市外からの移住者とのマッチングが成功した事例も増えてきており、徐々に動きが活発になってきているところです。</p> <p>空き家相談会につきましては、京都司法書士会や京都土地家屋調査士会とも協力協定を締結し、相談体制を充実させています。</p> <p>亀岡市へ移住を検討する方は多く、空き家登録を頂ければ利活用につながる可能性も高いため、自治会におかれましても空き家所有者への働きかけへのご協力をお願いします。</p>
			<p>管理不全の空き家については、建築住宅課が窓口となっており、その状況に応じて、関連する部署に発信をしています。また、「空家等対策の推進に関する特別措置法」によって、勧告を行うと固定資産税の軽減を図らないというような対策を持って、管理不全の建物を無くしていくというような対応を取れることにはなっていますが、現在の社会情勢から、空き家の所有者の特定自体が難しいのが現状です。税情報や住民登録情報を用いて、行政としてもその特定に努めており、所有者が判明した物件については、指導を行っています。ただ、その指導が全てではないので、今後より良い対策を実施していきたいことから、現在、空き家対策条例や空き家対策計画を策定中です。それに伴い、市内各地の空き家について庁内で調査を実施していますが、空き家を取り巻く状況については、日々変わっており、地元の皆様からも情報提供をいただきたく等ご協力をお願いします。</p>	土木建築部 施設担当部長	②実施予定	<p>こん談会での回答のとおりです。</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
4	篠町	2-3 一級河川桂川と支川の治水対策について	<p>農業用排水路は、基本的には農作物を栽培する上で必要な水の送水や排水をするものです。農業用水路の断面は、送水に必要な断面と最少の余裕分しかないことから、大雨の時には、適正に水管理をいただいております。増水の際は用水を途中で排水する等の管理を土地改良区様で行っていただいております。</p> <p>整備については、土地改良事業になるので、施設管理者である地元の土地改良区に相談をいただき、また市の担当課である農地整備課と相談をいただく中で整備をしていくこととなりますので、よろしくお願いします。</p>	産業観光部 農政担当部長	⑥その他	改修整備については、まず施設管理者である土地改良区に相談をいただき、また市の担当課である農地整備課と協議をしていく中で整備を進めていくこととなります。
			<p>桂川については、平成21年度に出来た当面計画に引き続き、30年に一度の水を安全に流すことを目標として、現在、国交省直轄の嵐山より下流域の整備とバランスを保ちながら京都府において、河道掘削や築堤工事等の改修工事が進められています。</p> <p>平成25年に大きな水害があり、それ以降下流の嵐山地区では、緊急的に堆積土砂を撤去、また、6号井堰の撤去を今年の春に撤去が完了しています。それにより、段階的ですが、下流の流下能力は向上しているものと考えています。また、今後上下流バランスを確保しながら、どのような整備が可能となるのか国土交通省と京都府で協議調整が進められているところです。鶴ノ川・西川・年谷川への逆流を防ぎ、治水安全度を引き上げるためには、下流の国直轄区間、特に流下能力が低い嵐山地区の整備を進めていただく必要があると考えています。</p> <p>亀岡市としましても、引き続き「亀岡市桂川改修促進期成同盟」を中心に、流域自治体と連携を図り、下流区域を含め桂川全体の改修がスピード感をもって、促進されるよう今後とも国、府に対して要望してまいりたいと考えています。</p>	土木建築部長	①実施 ④要望	・亀岡市桂川改修促進期成同盟と連携し、10月26日に府へ要望活動を実施しました。また、11月14日に近畿地方整備局、11月17日に中央省庁等への要望活動を実施しました。
5	篠町	3-1 市道北古世西川線の供用開始と今後の安全対策について	<p>市道北古世西川線については、旧保津踏切から年谷川の区間について、平成28年4月25日に暫定的に供用開始し、残る年谷川から西川の区間約700mについて、昨年度末を以って用地が取得完了し、今年度のできるだけ早い時期の全線開通を目標に、現在、工事の発注準備を進めています。</p> <p>踏切のある年谷川交差点については、一旦停止規制をはじめ交差点を認識していただくための警戒標識や路面標示等の安全対策を講じているところですが、全線開通に伴い交通量の増加が想定されることから、信号機の設置を含めた交差点の安全対策について、現在、公安委員会またJR西日本と協議中です。</p> <p>馬堀駅周辺の西川にタッチする場所が現在は90度で曲がっていますが、これが三差路になるため、この部分の安全対策についても公安委員会と協議中です。</p>	土木建築部長	①実施	平成29年7月に未整備区間(約L=110m)の道路工事を発注し、現在、築造工事を進めています。また、全線開通に向けた最終の仕上げ工事を平成29年11月1日に業者決定したところであり、今年度のできるだけ早い時期に全線開通できるよう、関係機関協議及び道路築造工事を進めてまいります。
6	篠町	3-2 都市計画道路 馬堀停車場篠線について	<p>都市計画道路馬堀停車場篠線の第2工区ですが、広道交差点手前から国道9号までについては、平成25年6月に事業認可を取得し、以降、設計、土地の境界確定等を行い、順次地権者の方々の用地協議を進めていますが、国の交付金を活用した財源確保と残り29件の用地取得が必要であることから、現在のところ見通しは立っていない状況です。</p> <p>しかしながら、北古世西川線の供用開始に伴い、馬堀駅周辺の交通量の増加、また車の流れの変化が想定されるため、供用開始時の安全対策について、京都府公安委員、また亀岡警察署と協議を進めています。</p>	土木建築部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
7	篠町	3-3 鳥獣被害に対する対策の強化について	<p>有害鳥獣の駆除については、亀岡猟友会に委託して対応しています。</p> <p>補助事業の関係では、国や府の補助事業を中心に、捕獲用の網の設置に係る補助の要望を受けているほか、シカの捕獲強化として、府の独自に猟期の中に鹿を捕える補助を受け、平成28年度として約600頭を対象に補助したところですが、有害鳥獣の減少を実感するまでには至っていないのが現状だと思います。</p> <p>ご提案をいただいた、研修会・講習会については、今後自治会長及び区長の皆さんと調整し、開催に向けて進めていきたいと考えています。また、あわせて提案いただいた、猟友会と地元の有資格者の方との共同作業については、危険を伴うことなどからすぐには実施できないのが実情ですが、猟友会のわな班による捕獲などと並行して実施し、篠町全体の被害軽減を図っていきたいと考えています。</p>	産業観光部 農政担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
8	篠町	3-4 運動公園の整備について	<p>桂川河川改修によって、約21ヘクタールの広大な河川空間が産み出されています。その利用を図るため、平成23年度に市民や関係団体で「保津川かわまちづくり推進協議会」を設置し、具体的な利活用方法について検討いただいています。山本浜については、その右岸エリアの約14ヘクタールを協議いただいています。現在、京都府において整備計画の策定が進められており、その中で、広場の配置が計画されています。右岸エリア全体14ヘクタールについては、車や人の導線を配慮しながら、多目的広場やイベント広場を整備する計画となっていますが、具体的には現在協議中です。</p>	土木建築部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
9	篠町	3-5 市道中矢田篠線の通学路安全対策について	<p>信号機設置については、昨年、自治会から府民公募型整備事業として提案されましたが、不採択になったとお聞きしています。亀岡市としては、今回の結果を踏まえ、改めて亀岡警察署と調整を図っていくとともに、今後、住宅開発が進むことで生徒数も増加することから、関係機などと連携の上、交通事故を未然に防ぐための対策を講じるなど、安全安心なまちづくりに努めていきたいと考えています。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
10	篠町	3-6 バス交通について	<p>篠地区コミュニティバスは、篠町で一部バス路線の空白地域を解消することと市立病院へのアクセス向上を図ることを目的としています。平成28年2月から試行的に走っていますが、乗車率は非常に厳しく、1割程度の収支比率という状況です。</p> <p>近々に北古世西川線ができるので、その道路を利用したい思いは持っていますが、交通計画では30%の収支比率を目標としておりますので、現状のままでは厳しい状況です。ちなみに亀岡地区のコミュニティバスは30%を超える収支比率となっています。</p> <p>現在の状況を改善する目的で、地域の住民の方々に昨年アンケート調査を実施し、朝1便、夕方に1便、昼間に2便増便しました。そのことによって、トータルの乗車人数は多くなりありがたいのですが、1便当たりに割り返すと減ってしまっている状況です。</p> <p>今後、できるだけみなさんにバスに乗っていただき、そのことによって継続してコミュニティバスが運行できますようよろしくお願いいたします。</p>	まちづくり推進部長	②実施予定	<p>現行の利用者の少ないルートを廃止する中で、北古世西川線を運行する路線に再編し、平成30年3月31日から運行開始(予定)</p>

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	篠町	3-7 山本区における排水路改修について	山本排水路につきましては、平成24年12月に要望をいただきまして、その後、調査測量を行い、昨年の7月に計画平面図に基づき、地元関係者に説明会を実施しました。 亀岡市の管理する河川や排水路の整備については、多くの要望を各地域からいただいているところであり、緊急性また危険性を考慮しながら順次実施しているところです。 今後については、全体延長130mの中の特に改修が必要な約30m間の実施に向けまして、調整を図ってまいりたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。	土木建築部長	②実施予定	全体延長130mの中の約30m間について、今年度実施予定です。
12	篠町	3-8 宮の谷川の土砂の浚渫について	宮の谷川の土砂浚渫につきましては、河川断面の阻害状況によりまして、昨年度は篠町森地内での浚渫を行ったところであり、順次実施しているところです。 今年度も現地確認を実施しましたところ、土砂の堆積や雑草が繁茂している状況が見受けられたので、地元役員さんとの立会を求めまして、危険性・緊急性の高い場所から、順次土砂浚渫の実施を行っていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。	土木建築部長	①実施	平成29年度、要望箇所について実施しました。
13	篠町	【質問事項等】 スタジアムに関連して、この地域の交差点をどうするか。 クニッテル通りと平和堂前の2か所に、二日間立って調べたが青信号の時間は平均25秒、1回の信号で通れるのは8台程度。それから計算すると、最高で通るのに3時間かかる。 これは京都府に要望していただいて、左折と専用線ぐらい作っていただきたい。	交差点改良は、まさに必要だと思っています。クニッテル通り、そして、王子並河線も含め、府に対して要望してまいりたいと思っています。	市長 (土木建築部)	④要望	こん談会時の回答のとおりです。